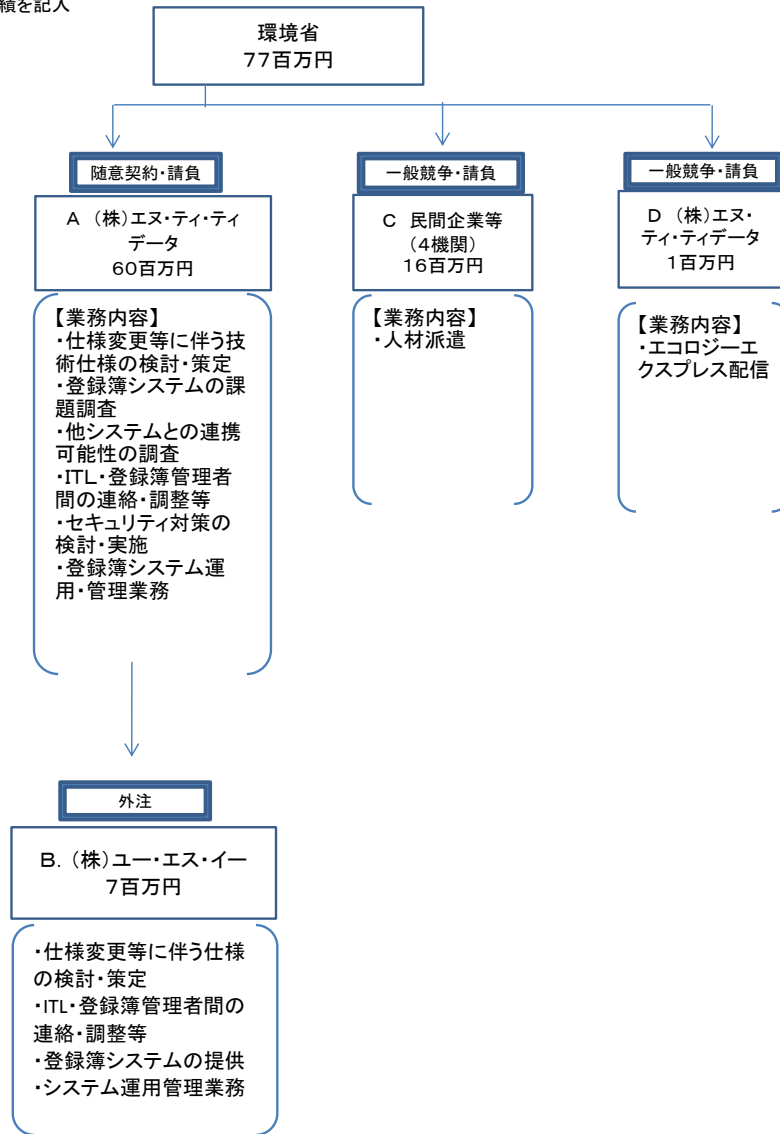


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	京都メカニズム運営等経費	担当部局	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～	担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室	室長 角倉 一郎			
会計区分	一般会計 エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)	施策名	1-4 市場メカニズムを活用した海外における地球温暖化対策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律第29条	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国別登録簿システムは、京都議定書に基づく割当単位や京都メカニズムによるクレジットの発行、保有、移転、償却等を行うための電磁的な登録簿であるが、京都議定書に基づき附属書I国が各国ごとに設置する義務を有しており、我が国の京都議定書の排出削減目標の遵守や、京都メカニズム活用の必要要件とされており、同システムを適切に整備・運営管理する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	京都メカニズムの活用に必要な国別登録簿の運用・管理を継続的に行うとともに、気候変動に関する国際連合枠組条約事務局が主体となって作成された技術仕様の変更等へ適切に対応する。その他、更改時期を迎えるネットワーク機器の入れ替え、セキュリティ対策や利便性の向上等、必要な改修を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	165	96	76	88	99
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	165	96	76	88	99
	執行額	145	85	77	-	-	
執行率(%)	88%	89%	101%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	継続的に京都メカニズムの活用を可能にするため。引き続き国別登録簿の運用・機能改修を行う。しかし、システムの運用・機能改修を数値化することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	日本の管理口座にあるクレジット量(国連への報告量)	活動実績(当初見込み)	百万t	6,050	6,132 (-)	6,189 (-)	(-)
単位当たりコスト	0.012(円/t-CO2e)	算出根拠	(執行額)77百万円÷(クレジット量)6,189百万t-CO2e=0.012円/t-CO2e				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	88	11	保守期限が平成25年度途中で切れてしまうネットワーク機器の入れ替えを実施するため、増額。			
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費		88				
計	88	99					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国別登録簿の整備については、平成14年7月19日の地球温暖化対策推進本部決定において、環境省及び経済産業省が共同で進めるとともに、国別登録簿管理者として共同で運営管理を行うこととされている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の一般競争入札を実施することを関係省庁と協議したが、一般競争入札の実施は困難であるとの結論に至った。 ・これまでの業務実績を踏まえ、日次、週次、月次作業の見直しなど、業務内容の精査を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・国別登録簿は、京都議定書に基づき附属書I国が各国ごとに設置する義務を有しており、我が国の京都議定書の排出削減目標の遵守や、京都メカニズム活用の必要要件とされている。 ・本システムは経済産業省との共管であり、環境省が維持運用、改修を行い、経済産業省が開発、国連対応という役割分担がされている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	極めて専門的な知識等が必要なことから、平成14年度から現在の事業者と契約しているが、引き続きコスト低減を図っていく。		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
一部改善	国別登録簿運用・管理については、過去の実績等を分析し既存の知見を活かすことにより、予算額を節減すべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
現状通り	過去の執行実績等を鑑み、概算要求額の縮減は行っていないが、引き続き効率的な執行を行う。		
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	006	平成23年行政事業レビュー	005

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)エヌ・ティ・ティデータ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	仕様変更等に伴う技術仕様の検討・策定等	21			
借料及び損料	データセンター等借料	26			
通信運搬費	回線費用	1			
外注費	B業務	7			
間接費		5			
計		60	計		
B.(株)ユー・エス・イー			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	定常的保守作業等	7			
計		7	計		
C.(株)朝日エンジニアリング			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	人材派遣	5			
計		5	計		
D.(株)エヌ・ティ・ティデータ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	エコロジーエクスプレス配信	1			
計		1	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティデータ	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様変更等に伴う技術仕様の検討・策定 ・登録簿システムの課題調査 ・他システムとの連携可能性の調査 ・ITL・登録簿管理者間の連絡・調整等 ・セキュリティ対策の検討・実施 ・登録簿システム運用・管理業務 	60	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユー・エス・イー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様変更等に伴う仕様の検討・策定 ・ITL・登録簿管理者間の連絡・調整等 ・登録簿システムの提供 ・システム運用管理業務 	7	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)朝日エンジニアリング	人材派遣	5	1	96%
2	オレンジネットプラス(株)	人材派遣	4	1	86%
3	(財)自然環境研究センター	人材派遣	4	1	88%
4	(株)シグマスタッフ	人材派遣	3	1	100%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティデータ	エコロジーエクスプレス配信	1	随意契約	-